

息の合った歌声披露



息の合った歌声を響かせる「かつらぎ会合唱団」と「中山医学大学校友会合唱団」
＝大阪市の住吉区民センターで

日台の市民合唱団 住吉

日本と台湾の市民合唱団が交流する演奏会が、大阪市の住吉区民センターであった。新型コロナウイルス禍でなかなか実現せず、構想から5年越しの開催となった。約300人が鑑賞した。

府立住吉高校音楽部の同窓生が中心の「かつらぎ会合唱団」メンバー、布留川正博さん

日本と台湾の市民合唱団(74)が、妻が台湾出身という縁もあって企画。台湾の親族らの紹介で「中山医学大学校友合唱団」を招いた。10月にはかつらぎ会が台湾を訪れ、再度共演する。

演奏会は両合唱団(各約40人)がそれぞれ、レパートリーを披露。最後は全員がステージに立ち「時の流れ

に身をまかせ「故郷」で声を合わせた。

両合唱団によるリハーサルは、前日の4時間程度。かつらぎ会の柏原章雄団長(76)は「予想以上に息の合った合唱となった。10月には台湾で、日本にこういう合唱団があると聞くことを知ってもらえるような歌声を披露したい」と話した。

【花牟礼紀仁】

毎日

2024年(令和6年)9月11日(水)